

火の魂ファミリーの皆いつも本当にありがとう。

また新しい生活が始まることの多い4月になりました。

今まで火の魂カンパニーで働いてくれていた、卒業生の皆さん本当にありがとうございました。新しい場所でも沢山学び成長して行ってほしいですね。社会に出た新入社員の皆さんは、大変なことも沢山あると思いますが、周りの人や会社に必要とされる人になれる事を心から期待しています。

さて、今月の社長からの手紙は「必要とされる人間になる」を書いてみたいと思います。私が創業時から大切にしていたのは、身近な人や大切な人から必要とされる人間になるということで、そんな人間になろうと心に決めて起業しました。

知っている人も多いかもしれませんが、私は30歳の時に無職で子供が3歳という過去から起業していましたので、悲しいことに必要とされる人間だとは思っていませんでした。人が生きているうえで「必要とされている」という実感が「幸せ」を決めていると思います。

4月というこの時期は人生の一つの節目を迎える人も多いので、改めて周りに必要とされる生き方をして行ってほしいです。自分だけのために毎日を過ごすのではなく、身近な人たちのために一生懸命働くことが、周りに必要とされ必要とされた分だけ周りに人が集まり、力を求められ社会では活躍できます。つまり仕事で成果を出し、社会（会社）で活躍する人の共通点は、どれだけ周りの人から必要とされているか？なのです。

私たちのお店も同じです。お客様からどれだけ必要とされたか？で、お店の繁盛も決まるし、逆を言えばお客様から必要とされていない店は閉店してしまうし、会社や上司などに必要とされる人は必ず活躍していきます。

社会に出て働く上で大切なことは、人（お客様、上司、同僚、部下）から必要とされる人間を目指して仕事をするので、それは会社の代表である私や新入社員も基本的に変わらないのです。多くの人から必要とされた人が、社会・会社・身近な人の力になり、自分自身の価値が高まり、その価値に比例して経済的（給料など）にも精神的（幸せと感じる）にも豊かになり人生の差を作っていくポイントになる。社会に出たら身近にいる人から必要とされることを考えて行うこと、上司や部下、同僚やお客様は何を求めているか？そんなことを自ら考えて行動する。「貴方がいて良かった！」そんな言葉が仕事の意味だと思うし、火の魂カンパニーはそんな会社で在りたいと思うし、世の中から人から必要とされる会社を貴方と目指したいです。